

令和8年度 衣川中学校 学校経営方針

1 校 訓 自律 ・ 連帯 ・ 創意 ・ 責任

2 教育目標 「正しく・明るく・強く」

- 正しく判断する力を養い、真理を追求する生徒の育成。
- 支え合いの精神を培い、明るく社会性のある生徒の育成。
- 強い体と豊かな心を育み、実行力と責任感のある生徒の育成。

3 教育スローガン ～みんなでみんなを～

- 美しさのわかる人になろう。
- 人権と生命を大切に人になろう。
- 自分の頭で考える人になろう。

4 めざす学校像

- 美しい学校
- 人権と生命が保障される学校
- 学びたくなる学校

5 めざす生徒像

- 自律する生徒
 - ・ 自分の意見や考えを持ち、「正しい判断」の下で、「主体的」に行動できる生徒。
- 連帯する生徒
 - ・ 「多様性」を認め合い、「共感」と「思いやり」を大切に、互いに「協力」し合って、「仲間意識」を育むことができる生徒。
- 創意のある生徒
 - ・ 「新たな発想」で物事を考え、「様々な可能性」を見いだせる生徒。
- 責任の持てる生徒
 - ・ 自分のやるべきことに「責任」を持ち、最後まで諦めずに頑張りぬく生徒。

6 めざす教職員像

- 人間性豊かな教職員
- 生徒・保護者・地域に信頼される教職員
- 生徒を主語にして考える教職員
- 情熱のある教職員

・ 人権感覚、規範意識、責任感、使命感、教育の専門家としての力量（授業力）、生徒に対する愛情、生徒理解力、コミュニケーション能力などが備わっている教職員。

7 本年度の重点目標

- 「命と人権」を大切に「安全・安心」な教育環境の構築。
- 「生きる力(知：確かな学力、徳：豊かな人間性、体：健康、体力)」を育む教育の推進。
- 特別支援教育の視点に立った教育活動の充実。
- 自発的・自治的な生徒会活動の推進。
- 教職員のワークライフバランスの実現。

8 具現化するための主な手立て

(1) 学習面「知」の観点から

- ① 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現に向けた ICT(タブレット等)の有効活用。
- ② 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善。
- ③ 特別支援教育の更なる充実と「ユニバーサルデザイン」の視点に立った授業研究。
- ④ 「リタリコ」を積極的に活用した個別の指導計画の作成と支援の充実。

(2) 心の教育「徳」の観点から

- ① 人権感覚の育成と規範意識の醸成を図る教育活動の展開。
※授業、行事、講習会(人権、LGBTQ+、マナー、SNS等)、部活動など。
- ② 「考え、議論する」道徳の授業研究。
- ③ 生徒の個性(特性)を尊重し、生徒の良さや可能性を引き出す生徒指導。
- ④ 生徒の居場所づくり(教職員主導)と絆づくり(生徒主体)を意識した場の設定。
- ⑤ キャリア教育の充実。※トライやるウィーク、修学旅行での企業訪問、進路学習等
- ⑥ あいさつ運動などの生徒会活動の推進。

(3) 健康「体」の観点から

- ① 健やかな体の育成を図る取組の推進。
※授業、食育、行事、講習会(性教育、ジェンダー教育等)、部活動など。
- ② 生徒会の自主的な取組を尊重した体育的行事の充実。
- ③ 生徒の自主性を尊重した部活動運営。
- ④ 教職員の勤務時間の適正化並びにワークライフバランスの充実。

(4) 環境「安全・安心」の観点から

- ① 生徒1人1人が安心して学べる教育環境の構築。
 - ・ 個を大切にし多様性を認め合う温かい学級経営。
 - ・ 「なぎさ教室(校内フリースペース)」や通級指導教室の環境整備及び有効活用。
 - ・ 市教育支援センター「もくせい教室」やあかしフリースペース「トロッコ」、フリースクール等の民間施設、ICT等などの有効活用。
- ② 事故未然防止のための見守り活動(登校指導、校内巡回、下校指導等)の実施。
- ③ 教育相談体制の充実。
 - ・ 担任を核とした生徒や保護者が相談しやすい教育相談体制の構築。
 - ・ 養護教諭やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等の専門家の有効活用。
 - ・ 教育委員会(県、市)、関係機関等(明石こどもセンター、発達支援センター、清水が丘学園、明石警察、明石少年サポートセンター等)との連携。
- ④ 状況に応じて的確に判断し、自らの安全を確保するための行動ができるようにするための防災教育の推進。
- ⑤ 安全・安心な給食を実施するための取組の充実。(食物アレルギー対策研修等)

(5) 連携「学校・家庭・地域」の観点から

- ① 学年通信や学校HP等を活用した情報発信。
- ② 学校運営協議会の定期開催。
- ③ 校区ユニット会議の内容の充実。
- ④ 8校園所長会での情報共有。
- ⑤ 地域行事への参画。